

I 構想の基本的事項

1 策定の趣旨

地域医療構想は、団塊の世代が全員後期高齢者となる平成 37（2025）年を念頭に、病床の機能区分（高度急性期、急性期、回復期、慢性期）ごとに医療需要と必要病床数を推計し、将来の医療提供体制の構築に向けた施策の方向性を示すものです。

平成 26（2014）年の第 6 次医療法改正で、新たに都道府県に策定が義務付けられ、第 6 次佐賀県保健医療計画（平成 25（2013）年度～29（2017）年度）の一部と位置づけられます。

2 基本理念

佐賀県では、平成 27（2015）年 7 月に「一佐賀県総合計画 2015— 人を大切に、世界に誇れる佐賀づくりプラン」を策定し、「人を大切に、世界に誇れる佐賀づくり」を基本理念に掲げ、政策を推進しています。

医療・福祉分野についても、「医療提供体制の充実・強化」「地域包括ケアシステムの構築」を主要な取組としています。

地域医療構想は、平成 37（2025）年を見据え、「人を大切に」「佐賀で支える」を基本理念とし、病院完結型の医療から地域完結型の医療、キュアからケアの視点を持ち、将来にわたり効率的かつ質の高い医療提供体制と、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

また、医療と介護の連携強化を図るため、平成 30（2018）年に医療計画と介護保険事業（支援）計画の同時改定を行うこととなりますが、地域医療構想は、医療関係者のみならず、介護保険を担う介護保険者、市町、介護事業者の参画のもと策定しており、平成 30（2018）年を待つことなく、医療と介護の連携の視点を強く盛り込んだものとなっています。

3 期間

地域医療構想の期間は、平成 28（2016）年度から平成 37（2025）年度までの 10 年間とします。

Ⅱ 構想区域の設定と医療提供体制の現状

1 構想区域の設定

地域医療構想では、構想区域ごとに、必要病床数等を定めます。この構想区域は、現行の二次医療圏、老人保健福祉圏域と同じく、以下のとおりとします。

構想区域	構成市町
中部	佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町
東部	鳥栖市、基山町、上峰町、みやき町
北部	唐津市、玄海町
西部	伊万里市、有田町
南部	武雄市、鹿島市、嬉野市、大町町、江北町、白石町、太良町



2 構想区域の患者の受療動向

入院患者の受療動向は、構想区域ごとに特徴があります。中部、北部、南部は、区域内の住民が区域内の医療機関に入院している割合（域内完結率）が高く、圏域としての完結性が見られます。

東部は、福岡県（主に久留米）との間で、東部の急性期患者が久留米に入院し、福岡県の慢性期患者が東部に入院している相互補完関係がみられます。西部は、南部への一定の流出が見られます。

患者の受療動向は、基幹病院の配置や交通アクセスなどに左右されますが、今後ともこの受療動向は、大きく変わらないものと思われま

2013年度の患者流出入の状況(厚生労働省「地域医療構想策定支援ツール」)

単位:人/日

			医療機関所在地											
			佐賀県					他道府県						
			中部	東部	北部	西部	南部	福岡・糸島	筑紫	久留米	有明	北九州	佐世保 県北	県央
患者 住所 地	佐賀県	中部	6,319	132	20	0	129	47	0	147	16	10	0	0
		東部	105	1,796	0	0	0	34	33	409	11	0	0	0
		北部	84	11	2,619	0	22	72	0	0	0	0	0	0
		西部	49	0	46	1,405	204	15	0	0	0	0	57	12
		南部	286	23	0	40	3,358	17	0	11	0	0	0	47
	他 都 道 府 県	(東京)区中央部	11	0	0	0	0							
		福岡・糸島	27	47	35	0	0							
		筑紫	13	124	0	0	0							
		朝倉	0	31	0	0	0							
		久留米	100	634	0	0	0							
		八女・筑後	13	34	0	0	0							
		有明	45	20	0	0	0							
		北九州	19	0	0	0	0							
		佐世保県北	19	0	36	146	35							
県央	10	0	0	0	83									

患者住所地ベースの流出率

			医療機関所在地											
			佐賀県					他道府県						
			中部	東部	北部	西部	南部	福岡・糸島	筑紫	久留米	有明	北九州	佐世保 県北	県央
患者 住所 地	佐賀県	中部	92.6	1.9	0.3	0.0	1.9	0.7	0.0	2.2	0.2	0.1	0.0	0.0
		東部	4.4	75.2	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	17.1	0.5	0.0	0.0	0.0
		北部	3.0	0.4	93.3	0.0	0.8	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		西部	2.8	0.0	2.6	78.6	11.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.7
		南部	7.5	0.6	0.0	1.1	88.8	0.5	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.2

医療機関所在地ベースの流入率

			医療機関所在地				
			佐賀県				
			中部	東部	北部	西部	南部
患者 住所 地	佐賀県	中部	89.0	4.6	0.7	0.0	3.4
		東部	1.5	63.0	0.0	0.0	0.0
		北部	1.2	0.4	95.0	0.0	0.6
		西部	0.7	0.0	1.7	88.3	5.3
		南部	4.0	0.8	0.0	2.5	87.6
	他 都 道 府 県	(東京)区中央部	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		福岡・糸島	0.4	1.6	1.3	0.0	0.0
		筑紫	0.2	4.4	0.0	0.0	0.0
		朝倉	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0
		久留米	1.4	22.2	0.0	0.0	0.0
		八女・筑後	0.2	1.2	0.0	0.0	0.0
		有明	0.6	0.7	0.0	0.0	0.0
		北九州	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0
		佐世保県北	0.3	0.0	1.3	9.2	0.9
県央	0.1	0.0	0.0	0.0	2.2		

3 医療提供体制の現状

(1) 施設数の現状

病院数は、厚生労働省医療施設調査によると、平成26（2014）年10月1日時点で、108施設となっています。人口10万人当たりの病院数は12.9施設であり、全国平均の6.7施設を大きく上回っています。

一般診療所数は、厚生労働省医療施設調査によると、平成26（2014）年10月1日時点で、684施設となっています。人口10万人当たりの診療所数は81.9施設であり、全国平均の79.1施設を若干上回っています。

一般診療所のうち、有床診療所数は、厚生労働省医療施設調査によると、平成26年（2014）年10月1日時点で177施設となっています。人口10万人当たりの有床診療所数は21.2施設であり、全国平均の6.6施設を大きく上回っています。

しかし、有床診療所数は、近年、減少傾向が続き、平成27年10月1日時点では、168施設となっています。

病院・診療所数の推移

	平成25年10月1日			平成26年10月1日			平成27年10月1日		
	病院数	診療所		病院数	診療所		病院数	診療所	
		有床	無床		有床	無床		有床	無床
県計	108	185	507	108	177	507	108	168	515
中部	39	78	237	39	75	233	39	67	231
東部	14	19	82	14	19	84	14	19	84
北部	18	27	77	18	25	75	18	24	81
西部	12	18	42	12	17	44	12	17	45
南部	25	43	69	25	41	71	25	41	74

平成25年、26年厚労省「医療施設調査」、平成27年「佐賀県医務課調」

(2) 病床数（一般病床・療養病床）の現状

一般病床と療養病床数は、平成27（2015）年10月1日時点で、一般病床8,520床、療養病床4,764床の合計13,284床です。

厚生労働省医療施設調査によると、平成26（2014）年10月1日時点で、人口10万人当たりの病院の一般病床数は769.2床（全国平均703.6床）、人口10万人当たりの病院の療養病床数は、522.6床（全国平均258.2床）、人口10万人当たりの診療所病床数は311.7床（全国平均88.4床）を上回っています。

病院の病床数は、ここ数年概ね横ばいですが、診療所の病床数については、有床診療所廃止や、無床診療所への転換などにより、近年、減少が続いています。

平成25年10月1日(厚労省医療施設調査)

	病院			診療所			合計		
	一般	療養		一般	療養		一般	療養	
県計	6,433	4,344	10,777	2,275	407	2,682	8,708	4,751	13,459
中部	3,061	1,307	4,368	976	151	1,127	4,037	1,458	5,495
東部	747	851	1,598	237	38	275	984	889	1,873
北部	888	631	1,519	277	85	362	1,165	716	1,881
西部	484	530	1,014	224	53	277	708	583	1,291
南部	1,253	1,025	2,278	561	80	641	1,814	1,105	2,919

平成26年10月1日(厚労省医療施設調査)

	病院			診療所			合計		
	一般	療養		一般	療養		一般	療養	
県計	6,423	4,364	10,787	2,214	389	2,603	8,637	4,753	13,390
中部	3,121	1,267	4,388	935	151	1,086	4,056	1,418	5,474
東部	707	881	1,588	237	38	275	944	919	1,863
北部	858	661	1,519	269	85	354	1,127	746	1,873
西部	484	530	1,014	222	53	275	706	583	1,289
南部	1,253	1,025	2,278	551	62	613	1,804	1,087	2,891

平成27年10月1日(佐賀県医務課調)

	病院			診療所			合計		
	一般	療養		一般	療養		一般	療養	
県計	6,385	4,412	10,797	2,135	352	2,487	8,520	4,764	13,284
中部	3,083	1,305	4,388	859	114	973	3,942	1,419	5,361
東部	707	891	1,598	237	38	275	944	929	1,873
北部	858	661	1,519	267	85	352	1,125	746	1,871
西部	484	530	1,014	222	53	275	706	583	1,289
南部	1,253	1,025	2,278	550	62	612	1,803	1,087	2,890

(3) 有床診療所の現状

佐賀県医師会が平成27(2015)年5月に県内の有床診療所を対象に行った調査によると、有床診療所のうち入院患者を受け入れていない有床診療所が45施設(施設数の25%、有効回答の31%)・538床(病床数の21%、有効回答の25%)にのぼり、そのうち、何らかの形で再開の見込みがあるのは、7施設・118床しかないとわかりました。

この結果から、今後も有床診療所の減少は一定期間続くと思われる。

実施時期 平成27年5月
 調査方法 佐賀県医師会から各有床診療所へ文書で照会
 回収件数 143有床診療所 ※平成27年5月時点の県内有床診療所数177

	病床数(一般、療養)			休止中の病床についての意向				
	稼働	休止	自身で再開	後継者継承時に再開	当面休止	廃止見込	未回答	
中部	839	624	215	19(1)		173(16)	18(2)	5(1)
東部	195	167	28		27(2)			1(1)
北部	329	181	148		35(2)	109(8)	4(1)	
西部	235	181	54		19(1)	35(3)		
南部	535	442	93	18(1)		56(5)		19(1)
県計	2,133	1,595	538	37(2)	81(5)	373(32)	22(3)	25(3)

(注)平成27年5月末時点の有床診療所病床数 2,598

(4) 在宅医療の現状

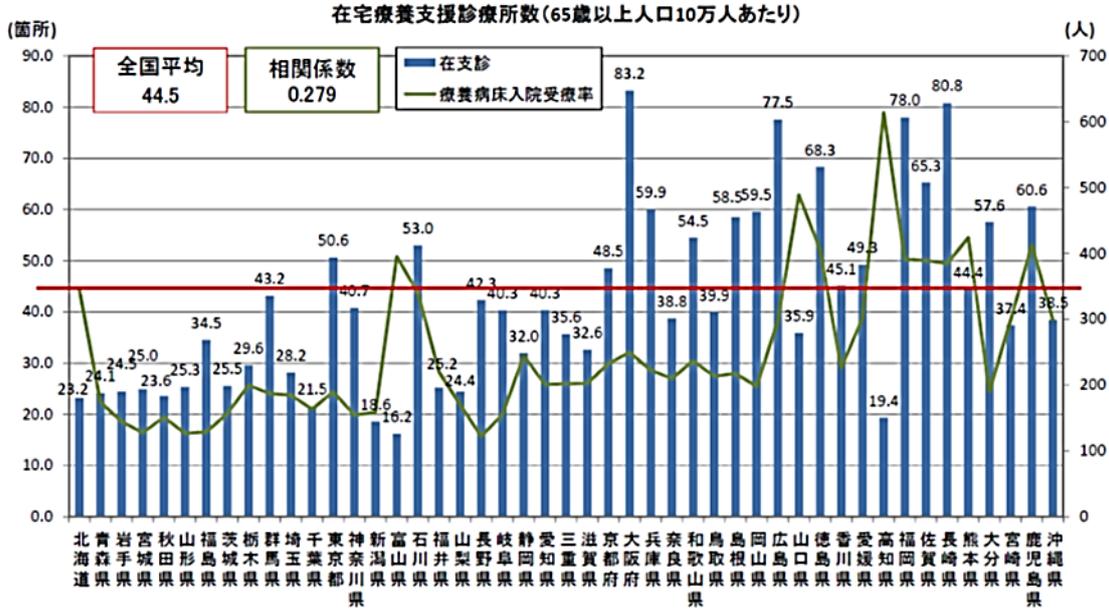
在宅医療を提供する基盤となる在宅療養支援診療所や、在宅療養支援病院の人口10万人あたりの届出数は、平成25(2013)年7月の厚生労働省調査によると、全国平均を大きく上回っています。

しかし、藤森研司東北大学大学院教授が、平成25(2013)年度分のレセプトデータをもとに作成したSCR(年齢調整標準化レセプト比)で、往診、訪問診療(同一建物、特定施設、居宅別)の提供状況をみると、訪問診療(同一建物)は、全国1位のサービス提供状況にありますが、往診や訪問診療(特定施設、居宅)については、全国平均を下回っています。

これは、在宅医療を提供する基盤は一定程度あるものの、入院受療率が高いことなどの事情により、実際の供給量は、同一建物に対する訪問診療に偏りがあることを意味します。

また、圏域ごとにみると、東部で在宅医療の供給量が他の圏域と比べて高いことがわかります。

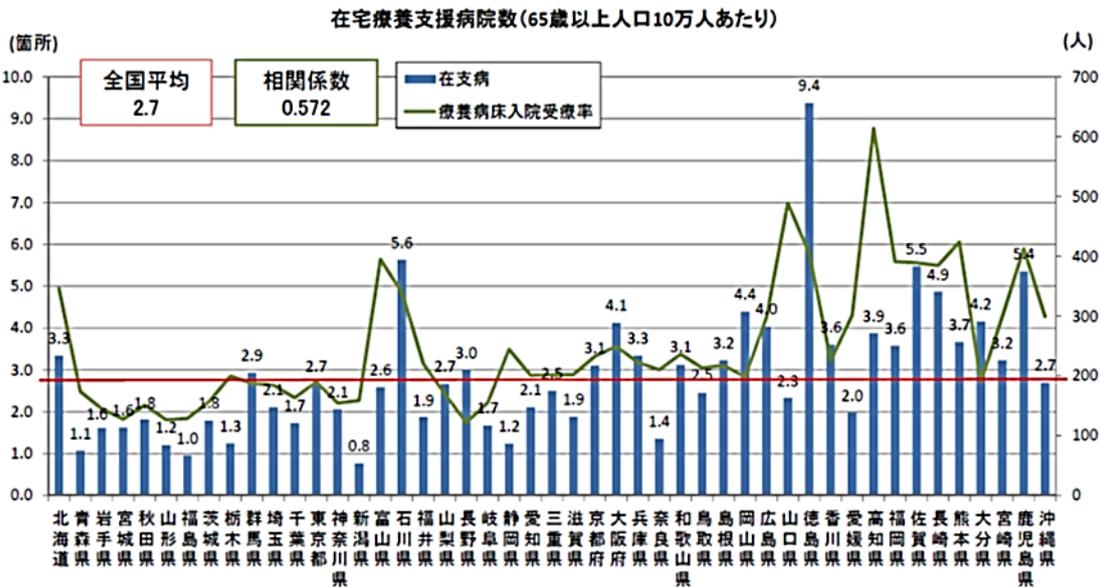
在宅療養支援診療所数



※療養病床入院受療率は、性・年齢階級調整後の値である

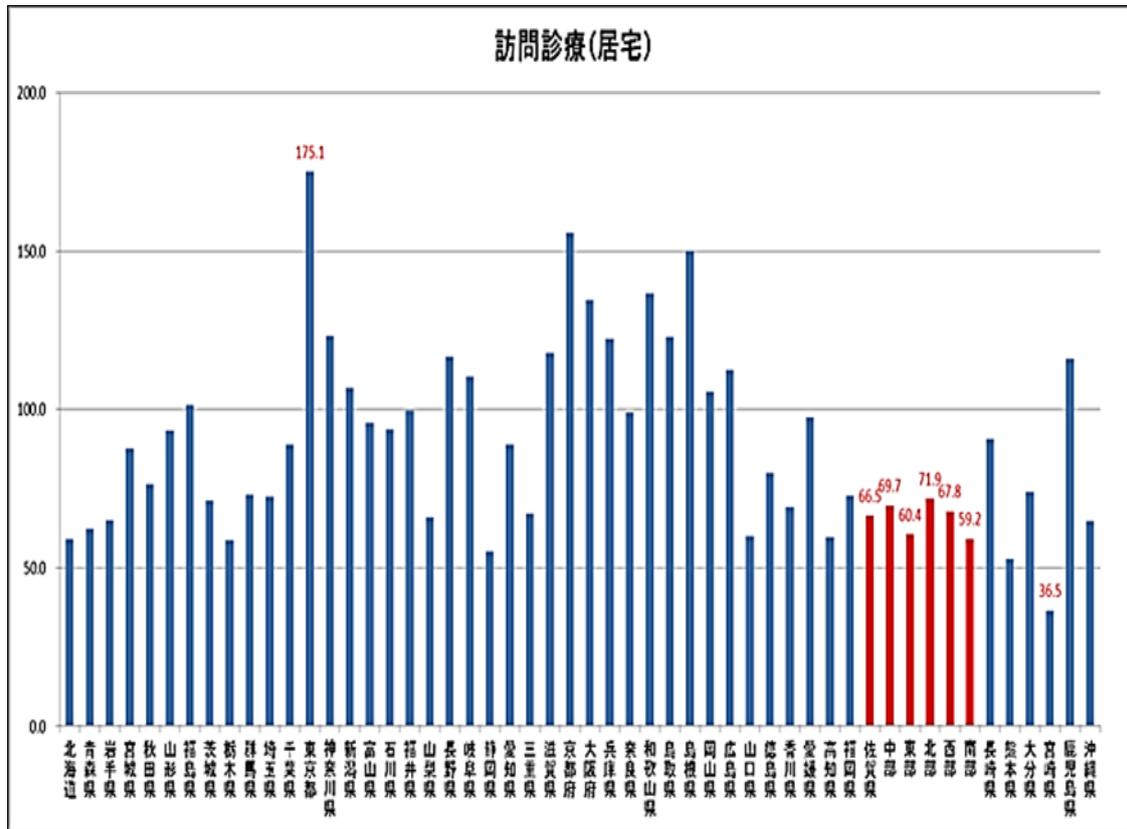
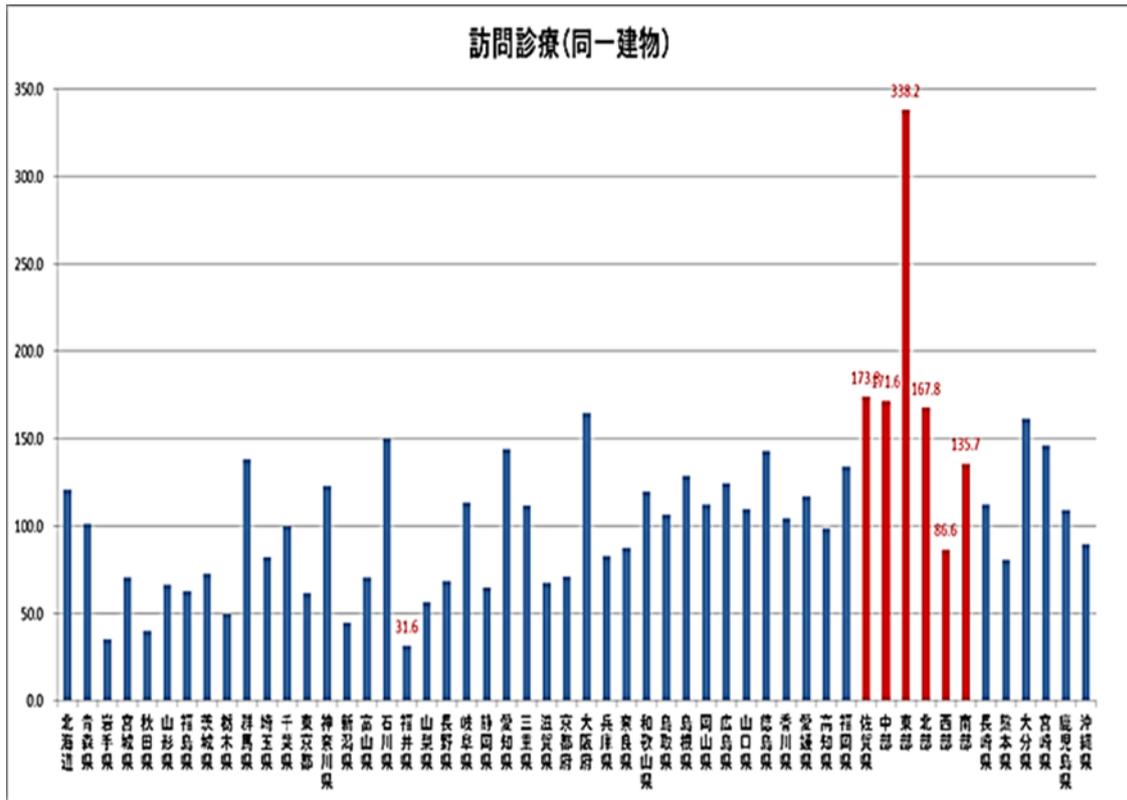
保険局医療課データ 平成25年7月
平成25年総務省人口推計

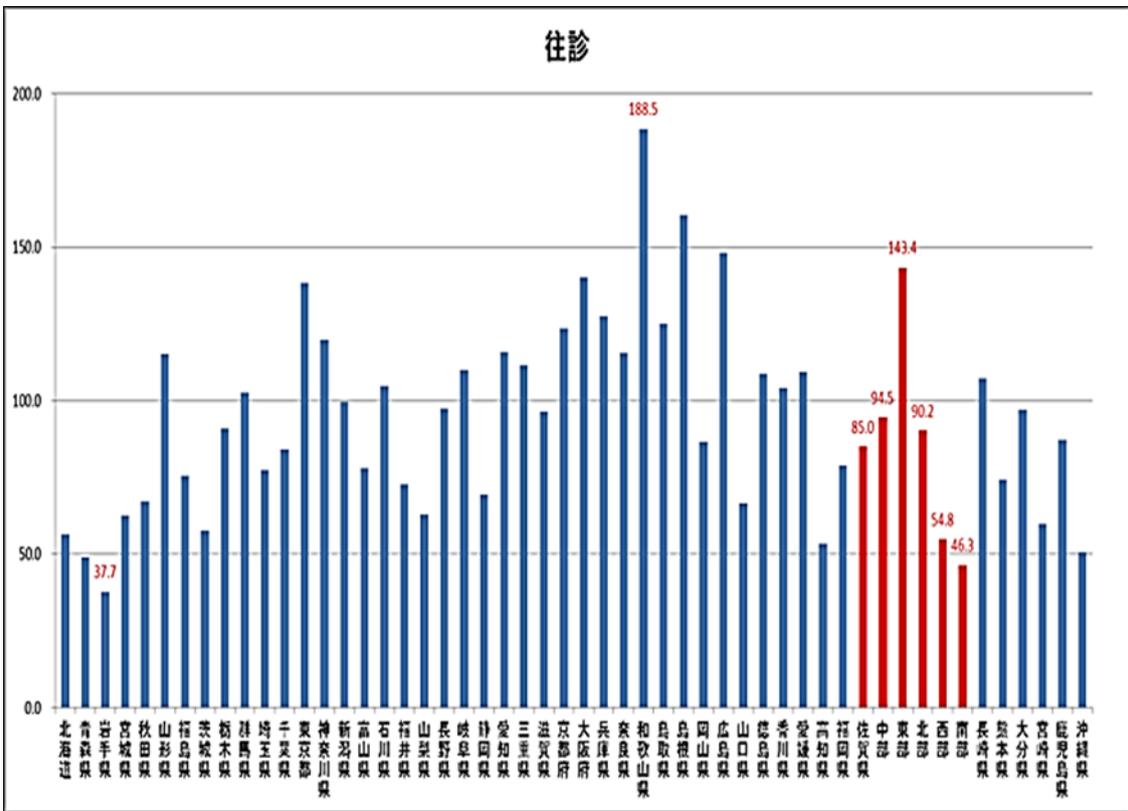
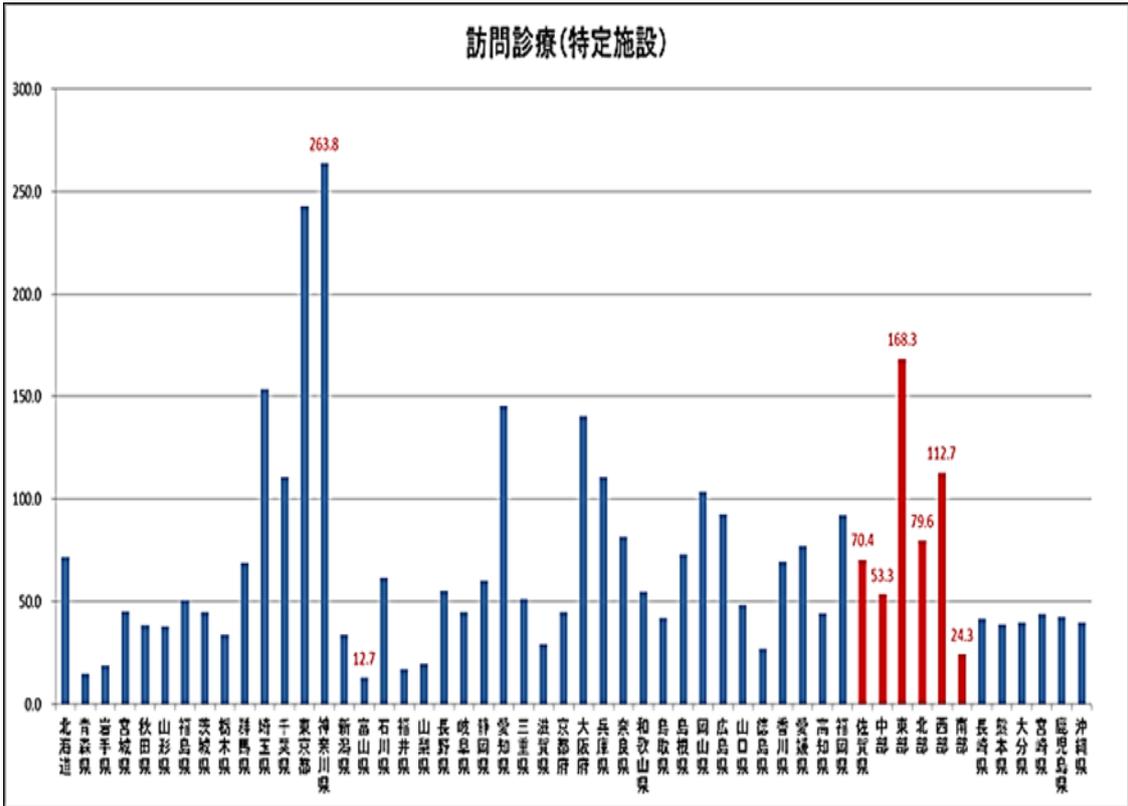
在宅療養支援病院数



※療養病床入院受療率は、性・年齢階級調整後の値である

保険局医療課データ 平成25年7月
平成25年総務省人口推計





Ⅲ 人口の推移等

1 人口の推移

国立社会保障・人口問題研究所の人口推計（中位推計）によると、総人口・生産年齢人口（15～64歳）は、全ての構想区域で減少する見込みです。

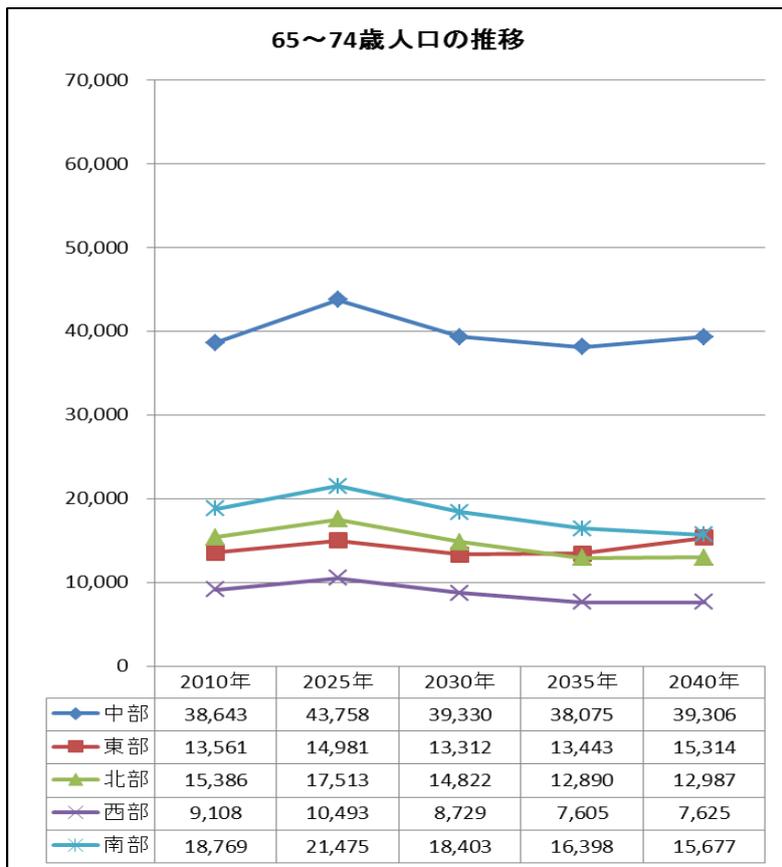
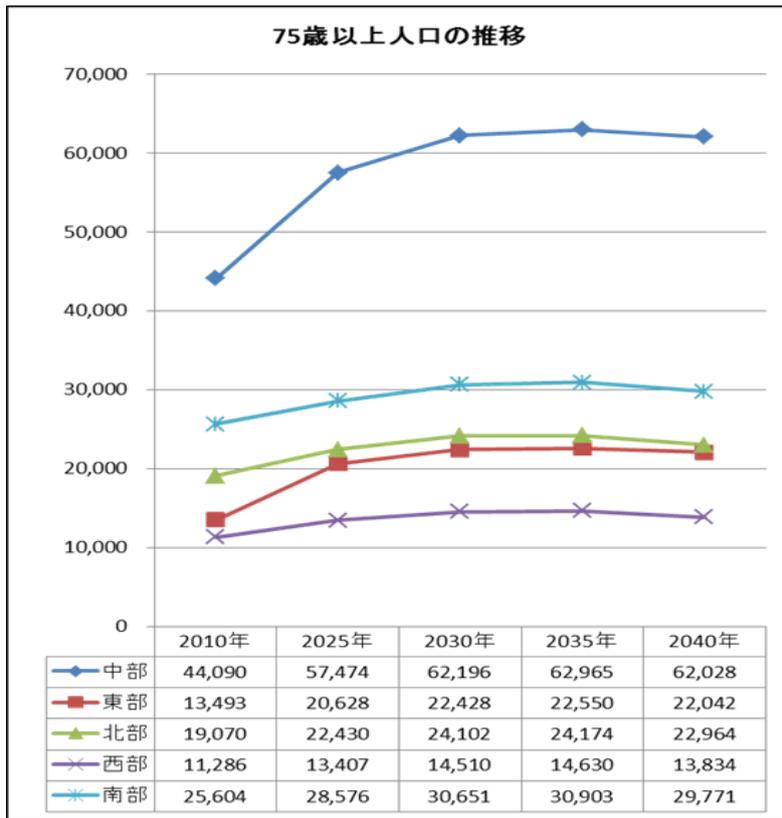
しかし、65歳以上人口については、北部、西部、南部では平成37（2025）年をピークに減少しますが、中部、東部では横ばい、微増傾向が平成52（2040）年まで続きます。また、75歳以上人口については、全ての構想区域で平成47（2035）年がピークとなりますが、その後、中部、東部は横ばい、北部、西部、南部は減少局面に入ります。人口の推移は、佐賀県の中でも、「中部・東部」と「北部・西部・南部」で異なる傾向を示すこととなります。

医療需要が特に高い75歳以上の人口は増加し、総人口に占める構成比が高まる中で、それを支える生産年齢人口、つまり医療・介護を提供する従事者の母数は減少し続けることを、今後の施策の前提とする必要があります。

人口の推移

		平成22年		平成37年(2025年)			平成42年(2030年)			平成47年		平成52年	
		人数	構成	人数	構成	増減率 (対H22)	人数	構成	増減率 (対H22)	人数	構成	人数	構成
佐賀県	総人口	849,788		774,676		▲ 8.8	744,863		▲ 12.3	713,583		680,203	
	15～64歳	517,322	60.9	428,978	55.4	▲ 17.1	408,882	54.9	▲ 21.0	387,221	54.3	359,881	52.9
	65歳以上	209,010	24.6	250,735	32.4	20.0	248,483	33.4	18.9	243,633	34.1	241,548	35.5
	うち75歳以上	113,543	13.4	142,515	18.4	25.5	153,887	20.7	35.5	155,222	21.8	150,639	22.1
中部	総人口	353,347		324,222		▲ 8.2	312,096		▲ 11.7	299,063		284,969	
	15～64歳	219,591	62.1	184,176	56.8	▲ 16.1	174,988	56.1	▲ 20.3	164,543	55.0	151,979	53.3
	65歳以上	82,733	23.4	101,232	31.2	22.4	101,526	32.5	22.7	101,040	33.8	101,334	35.6
	うち75歳以上	44,090	12.5	57,474	17.7	30.4	62,196	19.9	41.1	62,965	21.1	62,028	21.8
東部	総人口	122,310		121,484		▲ 0.7	119,634		▲ 2.2	117,350		114,679	
	15～64歳	76,702	62.7	69,591	57.3	▲ 9.3	68,575	57.3	▲ 10.6	66,552	56.7	62,817	54.8
	65歳以上	27,054	22.1	35,609	29.3	31.6	35,740	29.9	32.1	35,993	30.7	37,356	32.6
	うち75歳以上	13,493	11.0	20,628	17.0	52.9	22,428	18.7	66.2	22,550	19.2	22,042	19.2
北部	総人口	133,305		117,309		▲ 12.0	111,612		▲ 16.3	105,836		99,832	
	15～64歳	79,313	59.5	62,831	53.6	▲ 20.8	59,352	53.2	▲ 25.2	56,222	53.1	51,978	52.1
	65歳以上	34,456	25.8	39,943	34.0	15.9	38,924	34.9	13.0	37,064	35.0	35,951	36.0
	うち75歳以上	19,070	14.3	22,430	19.1	17.6	24,102	21.6	26.4	24,174	22.8	22,964	23.0
西部	総人口	78,090		70,170		▲ 10.1	67,220		▲ 13.9	64,206		61,037	
	15～64歳	46,188	59.1	37,325	53.2	▲ 19.2	35,680	53.1	▲ 22.8	34,091	53.1	32,055	52.5
	65歳以上	20,394	26.1	23,900	34.1	17.2	23,239	34.6	14.0	22,235	34.6	21,459	35.2
	うち75歳以上	11,286	14.5	13,407	19.1	18.8	14,510	21.6	28.6	14,630	22.8	13,834	22.7
南部	総人口	162,736		141,491		▲ 13.1	134,301		▲ 17.5	127,128		119,686	
	15～64歳	95,528	58.7	75,055	53.0	▲ 21.4	70,287	52.3	▲ 26.4	65,813	51.8	61,052	51.0
	65歳以上	44,373	27.3	50,051	35.4	12.8	49,054	36.5	10.5	47,301	37.2	45,448	38.0
	うち75歳以上	25,604	15.7	28,576	20.2	11.6	30,651	22.8	19.7	30,903	24.3	29,771	24.9

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2013年3月中位推計)」



2 高齢者世帯の状況

佐賀県の65歳以上の単独世帯数、75歳以上の単独世帯数は、ともに、今後増加することが見込まれています。75歳以上の単独世帯数と夫婦のみ世帯数の合計は、現在、32,390世帯ですが、平成37(2025)年には、40,104世帯になり、その後、43,000世帯台で推移しますが、単独世帯の割合が高まります。

在宅医療等の推進、地域包括ケアシステムの構築に向けては、入院患者の状態や医療提供体制のあり方だけでなく、入院患者、とりわけ高齢者の「住まい」を取り巻く環境も変わっていくことを前提とする必要があります。

	平成22年		平成27年		平成37年		平成42年		平成47年	
	世帯数	%								
全世帯数	294,133		295,111		286,352		278,932		269,880	
65歳以上の単独世帯数	26,874	9.1	30,760	10.4	35,888	12.5	37,051	13.3	37,730	14.0
75歳以上の単独世帯数	15,874	5.4	17,735	6.0	21,531	7.5	23,596	8.5	24,045	8.9
65歳以上の夫婦のみ世帯数	29,498	10.0	33,390	11.3	36,781	12.8	36,098	12.9	34,629	12.8
75歳以上の夫婦のみ世帯数	13,089	4.5	14,655	5.0	18,573	6.5	20,237	7.3	19,798	7.3

国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(都道府県別推計)」(2014年4月推計)